

温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標及び措置

計画期間		平成 29 年度 ~ 平成 31 年度				
温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項	年度	措置の内容				
	29	経年劣化により古くなった照明から順次LEDタイプに更新する				
	30	経年劣化により古くなった照明から順次LEDタイプに更新する				
	31	経年劣化により古くなった照明から順次LEDタイプに更新する				
温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標	温室効果ガスの吸収等	区 分		目標年度 (平成 31 年度) 二酸化炭素換算 (t)		
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等		t-CO ₂		
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用		t-CO ₂		
		グリーン電力証書の購入		t-CO ₂		
		グリーン熱証書の購入		t-CO ₂		
		オフセット・クレジットの購入		t-CO ₂		
		国内クレジットの購入		t-CO ₂		
	J-クレジットの購入		t-CO ₂			
	合 計		①		t-CO ₂	
	区 分		基準年度 (平成 28 年度) (二酸化炭素換算 (t))②	目標年度 (平成 31 年度) (二酸化炭素換算 (t))③	対基準年度比 (%)	
温室効果ガス 排出量		6,847 t-CO ₂	6,780 t-CO ₂	99.0		
<input checked="" type="checkbox"/> 差引排出量 A		(二酸化炭素換算 (t))② 6,847 t-CO ₂	(二酸化炭素換算 (t))③-① 6,780 t-CO ₂	99.0		
<input type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B						
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 B						
特記事項						

(注)

- 「基準年度」は計画年度の初年度の前年度とし、「目標年度」は計画期間の最終年度とすること。
- 「温室効果ガスの排出の抑制」欄については、削減目標を立てるに当たって指標とするものを「区分」の欄のいずれか選択し、該当する□にレ印を記入すること。この場合において、「原単位排出量B/C」を選択した場合においても「差引排出量 A」の値は記入すること。
- 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施するときは該当する□にレ印を記入し、「取組量等」欄及び「二酸化炭素換算 (t)」欄に値を記入すること。
- 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項」の実施する年度毎に記入したもののほか、地球温暖化の防止のために取り組むこと等を記入すること。